

おいしく、  
たのしく、  
すこやかに



### 食を通じて世界の人々に価値と感動を提供したい

2019(令和元)年8月、森永製菓は創業120周年を迎えました。

お客様、株主のみなさまやお取引先、関係者各位全てのステークホルダーのみなさまに、心より感謝申し上げます。

創業者・森永太郎は1899(明治32)年、「日本の人々に栄養価が高くおいしい西洋菓子を届けたい」という夢を抱いて創業いたしました。私たちはその創業の精神を受け継ぎ、「おいしく、たのしく、すこやかに」のビジョンのもと、時代の変化やお客様のニーズにお応えしながらさまざまな商品を開発・販売してまいりました。

現在、森永製菓グループは菓子食品・冷菓・健康食品等の領域で事業を展開し、その価値と感動をより広くお届けするために、海外事業や新市場・新領域開拓にも積極的に取り組んでいます。

一方、世界では地球温暖化や気候変動、経済格差・貧困等、これら数々の課題に国際社会全体で向き合おうとしています。持続可能な社会を実現するための世界共通の目標として、国連に加盟する全ての国が「持続可能な開発目標(SDGs)」を採択し、これに取り組んでおり、これらは国際社会の公的機関のみならず各国の企業にも期待される所です。

私たちは、世界規模で取り組むこれらの課題に森永製菓グループとして向き合い、社会的責任(CSR)を果たして

いくために、持続可能な社会の実現に向けたCSR基本方針・CSR体系を昨年度新たに策定し、「食」を通じた価値の提供、次世代育成、地球環境・社会への配慮、について積極的に取り組む旨を明文化しました。これらの取り組みを推進するためには、森永製菓グループの従業員一人ひとりが原動力となる必要があります。

企業が持続的に成長し社会に貢献し続けるためには、従業員一人ひとりの「個を活かす」ことが大切であると考えます。多様な人材が集まり、それぞれが創業の精神に立ち、森永製菓グループとして社会に果たす役割と責任を考え、そこから生まれる「知の多様化」によってイノベーションを創出していく企業として、これまで以上に「ダイバーシティの推進」「健康経営」「働き方改革」にも積極的に取り組んでまいります。

私たちは、「食」を通じて世界の人々に価値と感動を提供し、社会に貢献する企業でありたいと願っています。これからも、時代と社会のニーズにお応えし、ステークホルダーのみなさまにお力を借りながら、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

今後とも、ご理解・ご支援をたまわりますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **太田 栄二郎**

TOP  
MESSAGE